

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ティーツー

コード番号 7610 URL <http://www.tav2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺田 勝宏

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 藤原 克治

TEL 03-5719-4775

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	22,374	—	160	—	157	—	28	—
25年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 31百万円 (—%) 25年2月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	0.56	0.56
25年2月期第3四半期	—	—

(注) 平成25年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期第3四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注) 当社は平成25年4月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	11,975	5,284	44.1	104.40
25年2月期	12,149	5,438	44.7	105.38

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 5,281百万円 25年2月期 5,435百万円

(注) 当社は平成25年4月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	110.00	—	110.00	220.00
26年2月期	—	80.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.80	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成25年4月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、年間配当金の平成26年2月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない期末配当予想額は80円、平成26年2月期の配当予想合計額は160円となります。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	△7.9	314	△48.0	300	△51.5	97	△60.2	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は平成25年4月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない平成26年2月期の業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、190円41銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) カードフレックスジャパン株式会社、除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	52,640,000 株	25年2月期	52,640,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	2,049,500 株	25年2月期	1,065,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	51,057,551 株	25年2月期3Q	51,742,900 株

(注) 当社は平成25年4月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表に対する監査手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上は、マルチパッケージ販売事業において、新規出店が6億7千8百万円の増加に寄与した事に加え、EC売上が前期比1億6千3百万円増加したものの、既存店売上が前期比△12億3千9百万円及び閉店による減収が前期比△6億3千4百万円並びにFC収入等による減収が前期比△1億1千7百万円あった事から、差引で前期比11億5千万円の減収となりました。

また、その他セグメントにおいて連結子会社であるカードフレックスジャパン株式会社への先行投資、TWO-BASE株式会社のペットサプリメント事業撤退(平成25年10月1日事業譲渡)に伴う費用計上が損益面で影響した結果、連結売上高は223億7千4百万円、連結営業利益は1億6千万円、連結経常利益は1億5千7百万円、連結四半期純利益は2千8百万円となりました。

(注) 前第3四半期累計期間は、四半期連結財務諸表の作成を行っていないため、連結業績における前年同四半期比較は記載しておらず、主要セグメントであるマルチパッケージ販売事業についてのみ比較を記載しております。

(事業の概況)

マルチパッケージ販売事業を主力とする当社グループが属する業界におきましては、TVゲームのパッケージソフトからオンライン型へのシフト、新刊書籍・コミック誌の発行部数減少、電子書籍化等、主要商材に係る市場が大きな変容期に差し掛かるなど、外部環境の厳しさが増している中で、リアル店舗の強化とEC事業拡大による販売力強化に努めてまいりました。

特に市場が安定しており、参入余地のあるトレーディングカードにつきましては、品揃え、価格管理等の面において独自のスキームを協力取引先と研究構築し、非常に困難といわれるチェーン店としての多店舗展開の障壁を克服することに成功いたしました。これにより、3月には、自社のトレーディングカードノウハウを一層向上させるため、同事業者が密集する大阪日本橋に、トレーディングカード専門店「トレカパーク日本橋店」を出店した他、既存店舗には、自社ブランド「トレカパーク」コーナーの展開を推進したことにより既存店舗出店と合計して、当期に44店舗出店し累計63店舗(前期トレカパーク店舗:19店舗)となりました。

今後も、当社においてゲーム・古本に続く第3の柱となりうるトレーディングカードの拡販体制を重点的に整備してまいります

(当期の実施内容と成果)

マルチパッケージ販売事業においては、商品のデジタル化やスマートフォン市場の拡大に影響を受けない「データに置き換わらない」商材によるリアル店舗ならではの「ご来店頂く楽しさ」を追求し、従来の書籍・ゲームに特化した店舗レイアウトから、トレーディングカードスペース(トレカパーク)や、アメリカン雑貨(キャラクター雑貨)、服飾雑貨(バッグ等)を取り扱う(ZAK2 GARAGE)といった新しい空間の提供を進めてまいりました。また、中古商材を扱うノウハウを生かして、金券・家電商材の買取販売の他、ゲーム機ハードに対するメーカー保証に付加する形での延長保証サービスといった新商材・新サービスも導入いたしました。

販売施策の面におきましては、ゲーム販売におけるビッグタイトル発売時にオリジナル特典を製作するなど各種プロモーションを実施し、需要を刺激するインセンティブ施策を投じてまいりました。

店舗運営の面におきましては、継続的なスクラップ&ビルドに加え、店舗内のオペレーション及び店舗本部間の業務フローの効率化を中心としたコスト構造の見直しにより、固定費の削減に努めてまいりました。

このような取り組みによる成果に加え、新品ゲームの有力タイトルの発売及び前期より5店舗出店したTSUTAYA店舗のレンタル売上貢献もあって、当第3四半期会計期間では、前期に比べて単体売上6億1千4百万円の増加(前期比+8.2%)、単体営業利益4千8百万円の増加(前期は△12百万円)となりましたが、第2四半期までの前期比減収を補うに至らず、当第3四半期累計期間における単体売上高は、223億7千1百万円(前期比△4.9%)、単体営業利益は2億3千2百万円(前期比△45.9%)となりました。

(注) 前第3四半期累計期間は、四半期連結財務諸表の作成を行っていないため、単体業績にて比較しておりません。

(ご参考) 店舗展開の状況

当期ブック・スクウェア店舗出店

オープン日	店名	都道府県
2013/6/28	ブック・スクウェア ザ・マーケットプレイス東大和店	東京都

当期トレカパーク(単独店)店舗出店

オープン日	店名	都道府県
2013/3/17	トレカパーク 日本橋店	大阪府

既存店内トレカパーク導入店舗(前期出店19店舗)

店名	都道府県(店舗数)
古本市場 幸手店、古本市場 三芳店、古本市場 桶川店	埼玉県 (3店舗)
古本市場 西大島駅前店、古本市場 新小岩店	東京都 (2店舗)
古本市場 柏豊四季店	千葉県 (1店舗)
T S U T A Y A 3 B e e 湘南台店	神奈川県 (1店舗)
ブック・スクウェア 松阪店	三重県 (1店舗)
古本市場 西陣店、古本市場 高野店	京都府 (2店舗)
古本市場 東住吉店、古本市場 松原店、古本市場 菱江店、古本市場 北加賀屋店、古本市場 香里園店、古本市場 羽曳野店	大阪府 (6店舗)
古本市場 倉敷中島店、古本市場 豊浜店、古本市場 平井店	岡山県 (3店舗)

既存店内トレカパーク導入店舗(当期出店43店舗)

店名	都道府県
古本市場 川口伊刈店、古本市場 深谷店、古本市場 上尾店、古本市場 八潮店、古本市場 蓮田店、古本市場 草加店、古本市場 春日部緑町店	埼玉県 (7店舗)
ブック・スクウェア ザ・マーケットプレイス東大和店、古本市場 竹の塚店、古本市場 光が丘店	東京都 (3店舗)
古本市場 市川鬼高店、古本市場 松戸店	千葉県 (2店舗)
T S U T A Y A 3 B e e 村岡店	神奈川県 (1店舗)
古本市場 大須賀店	静岡県 (1店舗)
ブック・スクウェア ララパーク店、ブック・スクウェア 菰野店	三重県 (2店舗)
古本市場 桃山店	京都府 (1店舗)
古本市場 鶴見店、古本市場 大東店、古本市場 生野店、古本市場 東豊中店、古本市場 原山台店、古本市場 中百舌鳥店、古本市場 くずは店、古本市場 西淀川店、古本市場 門真店、古本市場 深井店、古本市場 東大阪店、古本市場 久宝寺店、古本市場 箕面店、古本市場 富田林店	大阪府 (14店舗)
古本市場 尼崎店、古本市場 西神戸店、古本市場 川西店、古本市場 灘店、古本市場 加古川別府店、古本市場 東灘店、古本市場 名谷駅前店	兵庫県 (7店舗)
古本市場 京山店、古本市場 中仙道店	岡山県 (2店舗)
古本市場 福山春日店、古本市場 福山曙店	広島県 (2店舗)
古本市場 豊後高田店	大分県 (1店舗)

累計 63店舗(単独店1店舗含む)

ZAK² GARAGE導入店舗

店名	都道府県
古本市場 灘店	兵庫県 (1店舗)
古本市場 市川鬼高店	千葉県 (1店舗)

累計2店舗

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は119億7千5百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億7千4百万円減少いたしました。これは主に、店舗設備を主とした固定資産の減価償却による減少及び現預金の減少によるものです。

負債合計は66億9千1百万円となり、前連結会計年度末と比べて2千万円減少いたしました。これは主に買掛金の増加と、短期借入金の返済による減少及び利益の減少に伴う未払法人税等の減少によるものです。純資産は52億8千4百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億5千4百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益が2千8百万円の計上による増加と、配当金の支払による利益剰余金9千7百万円の減少及び自己株式8千7百万円の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきまして、平成25年7月16日に発表いたしました通期業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、平成26年1月14日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、平成25年10月15日付の決算短信で発表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,600	610	600	210	4.07
今回修正 (B)	31,500	314	300	97	1.90
増減額 (B-A)	△1,100	△296	△300	△113	—
増減率 (%)	△3.4	△48.5	△50.0	△53.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年2月期)	34,202	604	619	244	473.83

(注) 当社は平成25年4月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、カードフレックスジャパン株式会社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,655,699	2,254,182
売掛金	308,362	335,415
商品	4,264,169	4,720,964
貯蔵品	26,467	26,009
その他	566,959	583,952
流動資産合計	7,821,658	7,920,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	819,732	771,192
その他(純額)	720,753	626,653
有形固定資産合計	1,540,486	1,397,846
無形固定資産		
307,616		275,017
投資その他の資産		
差入保証金	1,220,972	1,226,383
その他	1,259,198	1,155,768
投資その他の資産合計	2,480,170	2,382,152
固定資産合計	4,328,273	4,055,016
資産合計	12,149,932	11,975,540
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,034,205	1,488,435
短期借入金	450,000	—
1年内返済予定の長期借入金	623,397	955,256
未払法人税等	255,656	552
賞与引当金	63,882	—
ポイント引当金	235,397	209,169
その他	642,417	590,816
流動負債合計	3,304,956	3,244,229
固定負債		
長期借入金	2,377,729	2,506,831
退職給付引当金	300,848	336,667
役員退職慰労引当金	144,550	—
資産除去債務	417,099	431,475
その他	166,471	172,254
固定負債合計	3,406,698	3,447,228
負債合計	6,711,655	6,691,458

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	3,224,002	3,136,594
自己株式	△73,659	△142,663
株主資本合計	5,435,646	5,279,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△462	2,583
その他の包括利益累計額合計	△462	2,583
新株予約権	3,092	2,263
純資産合計	5,438,277	5,284,082
負債純資産合計	12,149,932	11,975,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	22,374,040
売上原価	16,170,342
売上総利益	6,203,697
販売費及び一般管理費	6,043,282
営業利益	160,415
営業外収益	
受取利息	2,687
受取賃貸料	53,460
持分法による投資利益	5,255
その他	23,831
営業外収益合計	85,233
営業外費用	
支払利息	33,381
不動産賃貸費用	42,999
その他	11,850
営業外費用合計	88,231
経常利益	157,418
特別利益	
新株予約権戻入益	4
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産除却損	2,688
減損損失	225
店舗閉鎖損失	1,814
関係会社事業整理損失	10,440
その他	882
特別損失合計	16,050
税金等調整前四半期純利益	141,371
法人税等	112,652
少数株主損益調整前四半期純利益	28,719
四半期純利益	28,719

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,719
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	3,046
その他の包括利益合計	3,046
四半期包括利益	31,765
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	31,765
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社グループの事業セグメントにおいては、マルチパッケージ販売事業の比率が極めて高く、その他の事業セグメントは金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。